



JASDAQ

平成 27 年 12 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 榊沢 徹  
(JASDAQ・コード6838)  
問合せ先 経営企画部兼財務経理部 後田 晃宏  
電話番号 03-6435-6933

## ベトナム国における今後の事業展望に関するお知らせ

当社は、HIM LAM BC INVESTMENT JSC. (以下、「ヒムラム社」といいます。)と、この度、ベトナム社会主義共和国 (以下「ベトナム」といいます。)における再生可能エネルギー事業をはじめとする様々な事業展開に関して、相互に協力し、同事業を検討・推進していくことについて、基本合意に至りましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 概 要

ヒムラム社の親会社である HIM LAM CORPORATION は、ベトナムで金融、不動産、運輸、農業、鉱物等の事業を展開する Lien Viet Group (以下、「リエンベトグループ」といいます。)傘下の企業であり、ベトナム第二位の規模を誇る優良デベロッパーとして、主にベトナム国内において不動産開発事業を手掛けております。

また、リエンベトグループは特に金融サービス事業として Lien Viet Post Bank (リエンベト郵便銀行) があり、ベトナム農業農村開発銀行と並んでベトナムで最も大きなネットワークを有する銀行も傘下においております。

ベトナムでは現在、再生可能エネルギーを用いた発電事業についての関心が高まっており、グリーン政策を推し進めている中で、当社としては、今後の事業展開を見据え、ヒムラム社と共同でベトナムにおける再生可能エネルギー事業等の可能性について模索してまいります。

#### 1. 今回の基本合意に至った経緯

ヒムラム社は、ハノイ東部の Long Bien District において、開発総面積 1000 ヘクタールに達する巨大開発プロジェクトを手掛けており、その一環として、ソーラーシステムによる電力供給の可能性を検討しております。

そうした背景に基づき、当社に対して、大規模ソーラーシステム開発についての可能性を共同で検討できないかとの打診があったことにより、今回、両者間でベトナム国での幅広い事業展開の可能性を検討・推進するという基本的な合意に至りました。

#### 2. ヒムラム社のハノイ東部 (Long Bien District) における開発計画の概要

現在、ヒムラム社は、ハノイ東部において、大規模な開発を推進しております。1000 ヘクタールにも達する広大な開発用地を確保し、既にいくつかのプロジェクトを具現化しつつあります。

一例をあげれば、日本のイオングループとの合弁で当該開発地の中核プロジェクトとして、イオンモールを開発し、2015 年 10 月 28 日に開店に至っております。

ヒムラムグループは、日本企業との提携に積極的で、イオン以外にも日本企業数社と住宅分譲などの開発案件を共同で推進しております。

### 3. 今後の予定

再生エネルギー関連及びその他事業に関して、幅広く検討し、事業化の可能性に関する具体的な協議に努める所存でございます。

当社としては、海外市場への進出の第一歩としてベトナムにおける事業展開を位置づけられるよう前向きな議論を進めて参ります。

なお、今後の進捗につきましては、随時、お知らせいたします。

以 上